

○子どもから学ぶ

子どもたちが元気に過ごしているのを見てみると、その元気をもらって私も明るい気持ちになります。「自分もこんな頃があったんだよなあ」と思いながら、子どもの特徴について考えてみました。

子どもはとても素直です。褒められてうれしい時は「うれしい顔」になり、叱られて悲しい時は「悲しい顔」になります。大人のように感情の起伏に制限をつけることができないため、テンションが上がりやすく、嬉しい時や興奮した時は、感情を爆発させることもあります。また、行動や言動、表情に裏表がなく、感情を読み取ることができるので、端から見てもすごく分かりやすいものです。

周囲を気にせずに我が道を行くことができるのも子どもらしさだと思います。大人になると周囲の目を気にしたり、誰かに合わせて行動したりしなければなりません。人との関わりにおいて経験が少ない子どもは、周囲の目を気にすることなく、自分のやりたいことをやろうとします。また、「常識」というものをまだ知らないのでも我を通し、「好きなことをしたい」「嫌なことはやらない」としっかり意思表示することができます。いい意味で型にはまらないので、自分の人生を楽しんでいると言えるのではないのでしょうか。

「楽しい！」と思うことがあれば、繰り返し同じことができるのも、素晴らしいと思います。大人から見ると「飽きないのかな？」と思うようなことを、とても楽しんでいます。大人は欲が出てしまい、新しいものを求めていきますが、子どもには欲がなく、好きなものがひとつでもあればいいという考え方ができるのは、大人にはない、すてきな要素のひとつだと思います。

このような子どもたちと同じように私たち大人がふるまうことはできませんが、参考にして心のもち方を見直したいものです。

・「楽しみ」を見つける

子どもたちは、毎日楽しいことを探しています。自然との関わりや、友達との関わり、時には一人遊びでも。大人になると仕事や家事に追われ、人生の中の楽しいことに目を向けられません。特に忙しい日々を過ごしていると、自分の生活を送るだけで精一杯に感じてしまうことも多いです。子どものように何気ない一日から「楽しみ」を見つけ出したいものです。季節の変わり目や人との会話、小さなことからつける力をもつことで、人生が豊かになると思います。



・他人の評価を気にしない

子どもたちは、人と意見が違っても気にしません。周囲の評価は気にせず、自分に自信を持って日々を過ごしています。一方、大人になると、最近はSNSの影響もあって、全く自分と関わりのない人の意見が気になったりします。生活環境も全く分からない他人の考えを信じすぎてしまい、自分に自信がなくなるようなことがあってはいけません。

・何事にもチャレンジ

子どもたちは、興味や関心をもったことに一生懸命に取り組みます。大人になると、効率や効果を考え、「時間の無駄かも」と考えたり、「どうせできない」と考えたりしてしまいがちです。子どものように何事にもチャレンジする気持ちをもつことで、新たな自分の発見があるかもしれません。

ホームページ更新しました	来週の予定				
	月	日	曜	時間	行事等
○6年 奉仕活動 ○令和5年度年間行事予定表 ○朝礼 表彰 児童会からの連絡	3	20	月	11:00	卒業式 5年下校
		21	火		春分の日
		22	水	14:55	新通学団での登下校開始 一斉下校
		23	木	14:55	一斉下校
		24	金	10:45	修了式 一斉下校

子どもたちの活動の様子は、本校ホームページをご覧ください。

十四山東部小学校

で

検索

または

